

第115号

1997年2月1日発行

発行人 圓口佳昭

事務局 京都府八幡市八幡城之内20
 TEL/FAX 075-981-0063, 982-8064
 nomasuda@inbox.kyoto-inet.or.jp

トピックス or ニュース

「(ご参考) ウイルス情報」

加藤純一

タイトル: 「(ご参考) ウイルス情報 NEC石崎」
 > 差出人: [@EMAIL] ishizakid@p20-29440.star.nec.co.jp
 > 配布先: (正)[tdc] saitouy
 > 受信日: 1997/01/21 15:55:03
 > 期限:

ウイルス情報を入手いたしました。
 デマかもしれませんが、念のためご参考として送付いたします。

-----以下 転送メッセージ-----

インターネットを通してメール交換している方にお知らせ。

"PENPAL GREETINGS!" というタイトルのメールが届いたら、絶対にダウンロードしないで下さい。

文通に興味があるかなどと聞いている一見フレンドリーなメールのようですが、開いて読んだ時には既に遅し。

あなたのハードディスクのブートセクターは完全に汚染されています。

"PENPAL GREETINGS!" が届いたら、開かずに即刻削除して下さい。

* 以上のようなメールが回ってきました。いかがでしょうか。

合宿報告

1997年1月18日 (pm. 3:00)

関西テレビ放送「蓬莱山の家」

参加者氏名 岩井、若井、若林、圓口、中西洋
 増田、吉川、中村、河原、中西秀
 野沢、中辻、神賀

13名

内容 詳細4~7pに掲載

決別例会

日時 97年2月1日
 場所 大山崎ふるさとセンター
 内容 編集部会・その他

先月のメールアドレスの中で掲載ミスがありましたので再度掲載いたします。注は近日変更されるかも?

会員電子メールアドレス

河原友三郎 注

1997-2 現在

神賀重善

加藤純一

中西洋一

中西秀行

若井征夫

若林実

中辻実

増田則雄

武田計子

野沢晴美

圓口佳昭

溝口知男

メールアドレスを所有されてまだ本会に連絡をされておられない方は事務局までご連絡下さい。

合宿の感想について

中西洋一

前回の例会や認定試験の手伝い等、勤務のために出席出来ませんでした。合宿に参加出来よかったです。会社へ行けば沢山処理しなければならない資料が溜まっていると思います。

岩井さんの最新パソコン技術動向に関しての説明でもありました様に、色々な最新テクノロジーにより益々処理能力が向上するパソコンを、いかに道具として使いこなせるか気ばかりあせるこの頃です。私のマシンも購入して約1年で、最近では平均機種よりも下位機種となってしまいました。私のマシン(ペンティアム133M)で講習会で実施された日本酒コレクション

のウィザードを実行して見ました。ACCESS起動からデータベース作成完了まで約1分30秒でした。アプリケーションがハードの向上に比例して重たく(便利に)なっていくため、使用するには投資しないと道具にならないのでと思っています。

HTML対応の文書作成を是非推進して欲しい(私はして行くつもりです)と思います。

オフィス97の環境までに、皆さんのワープロアプリをHTML変換出来る環境にして、何時でもリンク出来るようにしたいものですね???

インターネット情報

加藤純一

オンラインショッピング実験参加モニター募集中

サイバー・コマース・シティ（CCC）では、EC実証実験に参加してCCCモールでオンラインショッピングしていただけるモニターを、募集しています。

（お申込は、<http://www.commercecity.or.jp>まで）

CCCでは、さまざまなお店がオープンします。このお店のいくつかでは、実際に商品を販売し、サービスを提供して電子商取引の実験を行います。

どうすればオンラインでの買い物が便利になる？、ネットワークでの商売に欠かせない技術やノウハウは何？等々、それぞれの実験のテーマに従って、モニターの方やお買い上げいただいた方にアンケートによる調査などで、情報収集を行います。モニターの皆様にはビックリするようなサービスや、マルチメディアを駆使した売り方など楽しくお得なショッピングができるようそれぞれに工夫を凝らしていますので、ぜひテーマ別の実験室を体験してみてください。

【募集要項】

- ◆募集人数：5000人以上
- ◆実施期間：平成10年3月末まで
- ◆インターネットでCCCホームページにアクセスできる方
- ◆電子メールのアドレスを持っている方

【モニターの皆様へのお願い】

- ◆CCCサイバーネットカード（クレジットカード）による電子決済やマルチメディア技術を応用した商品プレゼンテーションなど実証実験の各テーマを体験していただき、アンケート調査にお答えいただきます。
- ◆インターネット上で開催するモニターフォーラムに参加して、情報交換やご意見を交わしていただきます。

【モニターの特典】

- ◆アンケートにお答えいただいた方には、CCCより素敵な景品が選べるデジタルクーポンを発行させていただきます。
デジタルクーポンは、CCCの景品交換所で、お好きな景品と交換ができます。
アンケートにたくさん参加するほど2つ、3つと貯めておいて、ちょっぴり豪華な景品と交換することもできます。
- ◆CCCサイバーネットカードで電子決済によりショッピングが体験できます。
（実証実験期間中は、カードの年会費無料）

〈お申込み先〉

WWW：<http://www.commercecity.or.jp/>
E-mail：monitor@kiis.or.jp
FAX：06-946-3441

〈お問い合わせ〉

財団法人関西情報センターCCC事務局（担当：岡山・友永）
530大阪府北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F
E-mail：monitor@kiis.or.jp

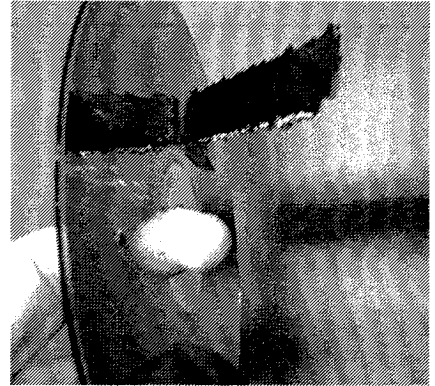
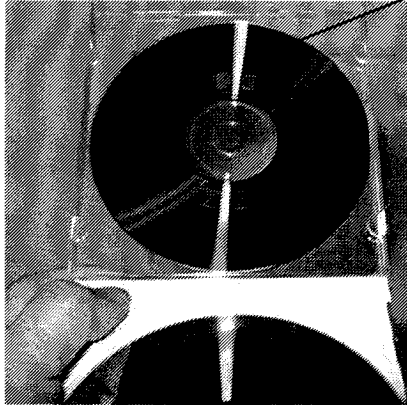
DTP

増田

情報を保存するための記憶装置の一つ「CD-R」は、その媒体であるCD-ROMに記録されるのであるが、CD-Rに使われるCD-ROMは、プラスチック円盤に薄いブルーの感光剤が塗膜され金色の皮膜（金箔のような）記憶媒体を貼り付けた物です。そのものは直接プラスチック円盤の表面になっていて剥離するので気を付けなくてはいけない。

ついこの前も表面にテープを張り付けたのを剥がしたところ一緒にピリッと剥がれてしまった。「参った一言」。其の場面が下記である。

データが記録されている領域とされたいない領域は見た目では解る。



IBM OS/2 WARP v4.j

IBM OS/2WARPv4.j と MS-Windows95 は

増田

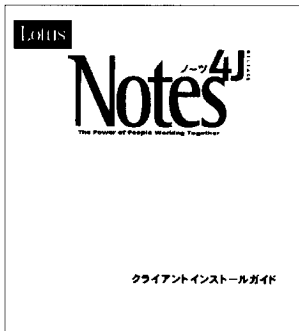
去年末からバージョンアップで申し込んでいたOS/2WARPv4.jが1月22日に送付されてきた。

当日は仕事で疲れ気味なので翌日にインストールする。予備にある1.6Gのハードディスクを整理してインストールを開始した。

インストールではネットワークの関係・サーバーとクライアント・ネットワーク管理者・ID番号・リモートアクセス権・共有ファイルと共有権・ゲストとの関係などを事細かく設定しなければいけない。

インストールを終わればwin95をイメージさせる画面が表示される。アイコンはデスクトップ・プログラム・WarpGuide・ネットスケープ・ネットワーク・シュレッターなどのアイコンが現れ、画面上部にはツールバーが配置されそのバーの中にもコマンドアイコン常駐で数個配置されている。操作環境は前バージョンに比べ数倍のスピードで格段に操作環境が良くなっている。

OS/2のパッケージにはロータスノーツが標準でパッケージングされておりこれも落ち着けばインストールする考えです。



tomoppy から

【一太郎が早くもバージョンアップ】

差出人: nmm@bizmail12.nikkeibp.co.jp
送信日時: 1997年1月17日 7:28
宛先: nmm@bizmail12.nikkeibp.co.jp
件名: [nmm 327] NMM News Update 970116_01

●Nikkei Multimedia News Update●97.01.16 #01

ジャストシステムが一太郎8を2月に発売
インターネット対応を強化するもHTML作成機能は先送り

ジャストシステムは2月中にも同社のワープロ・ソフトの一太郎シリーズの最新作「一太郎8 for Windows95/NT」を発売する。昨年9月に発売した一太郎7を、わずか半年でバージョン・アップする。インターネット対応や日本語変換システム、文書編集機能、の3点を中心に強化した。

インターネット対応については、一太郎で作成した文書をWWWブラウザで閲覧可能にするプラグイン、メール・ソフト、WWWの自動巡回ツール、同社のJustNetで提供中のニュースをリアルタイム表示するツールなどを追加した。しかし、予定されていたHTML作成ツールの提供は遅れ、3月以降に単体で別途提供する見込みだ。このため、一太郎8はHTMLの閲覧ツールは備えるものの、作成ツールがないというアンバランスな形での出荷となる。HTML作成と閲覧の両方の機能を標準で備えるマイクロソフトやロータスのワープロ製品との競争面での影響が懸念されそうだ。

日本語変換システム「ATOK11」では作成中の文書の文脈を判断して、同音異義語を適切に表示する文脈解析技術などを新たに搭載し、変換効率を高めた。文書編集機能では、挿入した図形の輪郭に沿った文字回り込み機能や、原稿用紙出力への対応、はがき作成支援機能などを搭載。ユーザーの操作を記録してプログラム化するマクロについては、同社のオブジェクト指向開発環境「JustBuilder」をベースにした編集ツールを使ってビジュアルにマクロを作成できるようにした。

一太郎8は、7で採用されたコンポーネント技術を改良して、新機能をコンポーネントの形で追加することが可能になった。ジャストシステムでは、ペイント&フォトタッチ・ツールや日記作成ツールなどを収録したコンポーネント集「一太郎8パリュパック」も本体と別売りで同時に発売する。一太郎8の本体標準価格は4万円、パリュパックは6000円の予定。(永井 学)

●ご意見ご要望などは日経マルチメディア編集部(nmm@nikkeibp.co.jp)まで。
●このニュース・メールから配信を転載しました。

1997年度

1997.1.18.

新春合宿

会長 圓口佳昭

新春合宿はパソコン6台、ノート5台、LANで4台の接続、では増田さんの3台を最高に皆さんのパソコンが勢揃いしました。みなさんご協力ありがとうございました。

本会の参加者13名、セットアップはテキパキ進み、参加者の本年の抱負のあと、岩井さんに「97年マイコン事情」をハードの変化による、3つのファクター（CPU、メモリー、バス方式）の変化。周辺機器の変化でますますソフトもハードも変化せざるをえないという報告をしていただきました。



Accessについては時間切れになりましたが吉川さんの疑問に中西副部長が処理方法を伝授、解決の方向を示され終了。



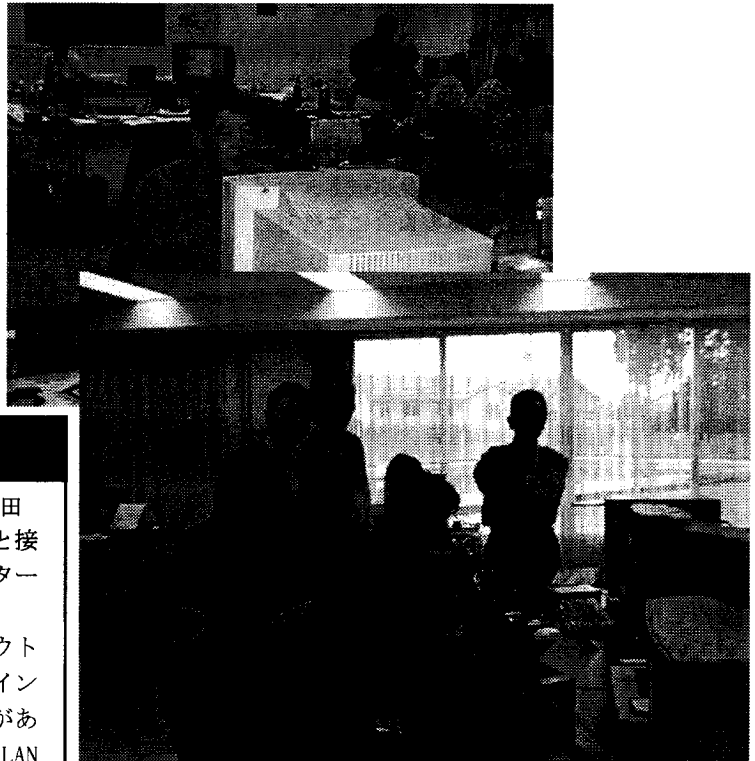
新年会

夕食では「かにすき」と「しゃぶしゃぶ」締めくくりの雑炊では中西秀さんの登場。

新年会

by 関西テレビ放送「蓬莱山の家」

食後の講習では「インターネットHTML」は若井さんの要点をまとめた資料による紹介に女性としては初参加の野沢さんがホームページ作りの紹介と解説で話が進み、10時になり明日は仕事の野沢さんが帰られた後、増田さん制作による京都マイコン研究会のホームページの検討会がもたれました。自由にご意見をとの声に、多くの改造意見が続出、来月例会(2月1日)までに現在の内容を印刷しチェック及びコメントをいれて検討資料とする事となり、皆さん宿題をフロピーでもらいました。



LAN

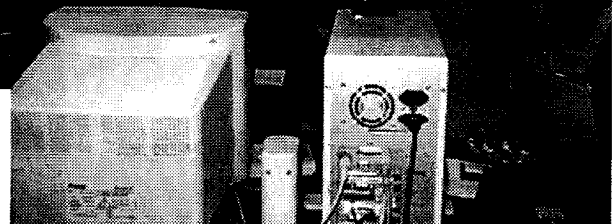
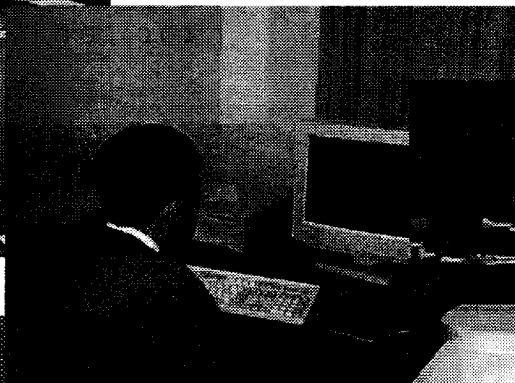
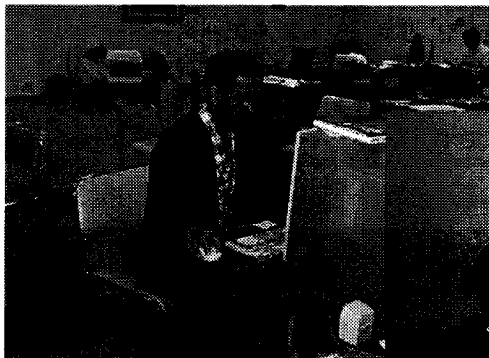
増田

LANの部会では圓口氏のパソコンから増田のパソコンと接続して圓口氏のパソコンに接続されているカラープリンターを稼働させると言う前回の課題を実験した。

前回は、リモートアクセスするパソコンにプリントアウトさせるプリンターのプリンタードライバーがシステムにインストールされていなければ稼働させられないと言う考えがあり失敗しました。しかし、今回は私たち本人自身が日常LANを利用していることでなれてしまったのか、前回のような、しどろもどろした設定ではなくてきばきとスムーズに認識共有作業が終了。

また、プリンタードライバーのインストールなど全く入ら

ない事が解り。前回は何をしていたのか嘘の用に終了した。ピアアア・ピアアでの接続も圓口氏が日常自宅でノートブックPCでされているので問題なく完璧であった。次回は共有と共有しないのパソコンの管理システムを考えたい。



自由タイムではインターネットテレホンやテレビ会話について中西洋一さんに紹介してもらい新しいインターネットの利用方法に皆さん見入っていました。

おやすみは午前1時すぎ。



1997年度

1997.1.18.

新春合宿

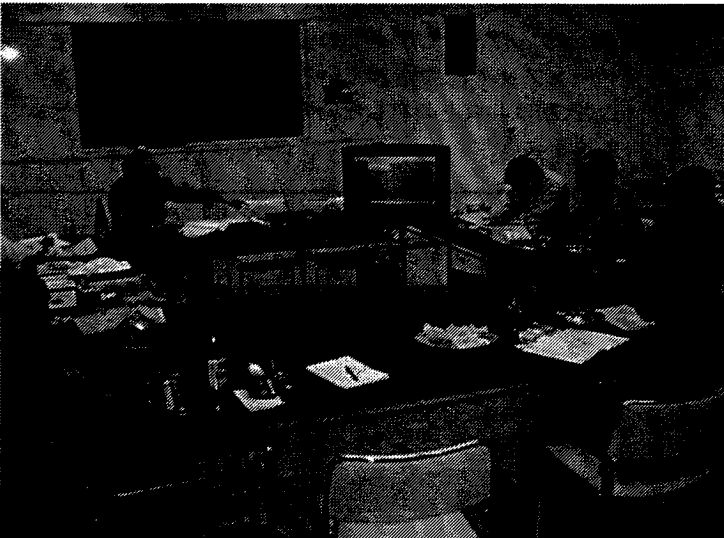
朝食のあと、河原編集長より97年、年間編集方針について提案され、具体的な会報についての意見がだされ、神賀さんからページネーションの提案や、増田さんから原稿が集まらない苦労ばなしなど多くの意見がだされ、今後の取り組みについて研究レポート、マイコンライフ報告などを編集委員会によせることになりました。

今後、各部会部長からの報告、地域フェア情報、マイコンショップ情報、などが出され、最後に河原編集長よりまとめがありました。

会報については、編集部の方々(河原さん、増田さん)には原稿が集まらず大変お世話かけています、今年は新年からみなさんのパソコンに対する思いや、活用に対する工夫研究のレポートをメモ書きでも、編集部によせてください、会報編集時に活用していただけます。

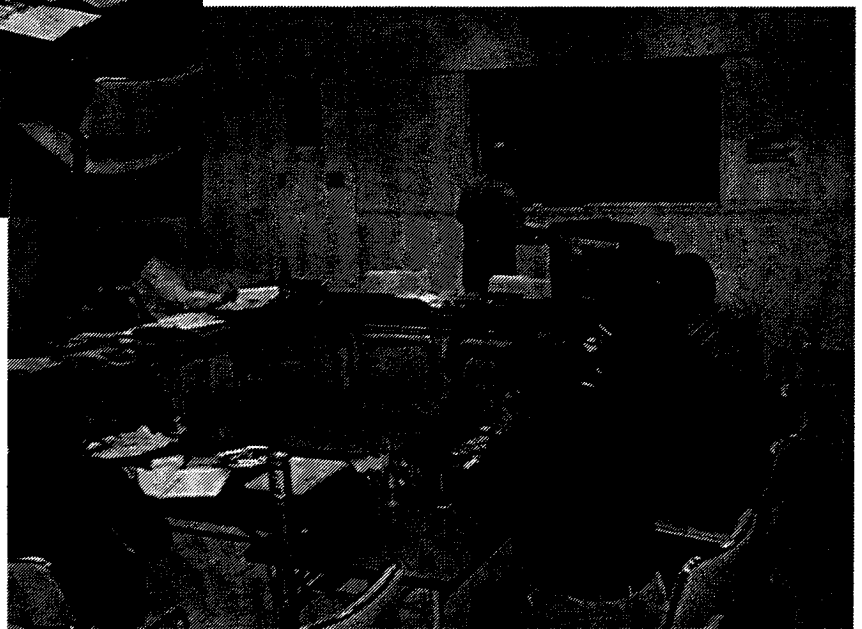
**Access部会**

新年会研究会では、ヘルプに強くなるをテーマに、取り組む予定でしたがうまくいかなかったようです。今後の取り組みとして、事例研究でデータの構造や、リレーショナルデータベースの考え方を身につけていこうと思います。テキストは「できるAccess95(インプレス ¥1,400)」です、データベースの作り方からテーブル、クエリー、フォームの使い方など、名刺管理から伝票を作るまでを81個のレッスンで構成されています、自習教材としてもわかりやすいものとなっています。今年はどうし年、ノツノツとじっくり取り組みたいと思います。



ル、クエリー、フォームの使い方など、名刺管理から伝票を作るまでを81個のレッスンで構成されています、自習教材としてもわかりやすいものとなっています。今年はどうし年、ノツノツとじっくり取り組みたいと思います。

(圓口)



新年会

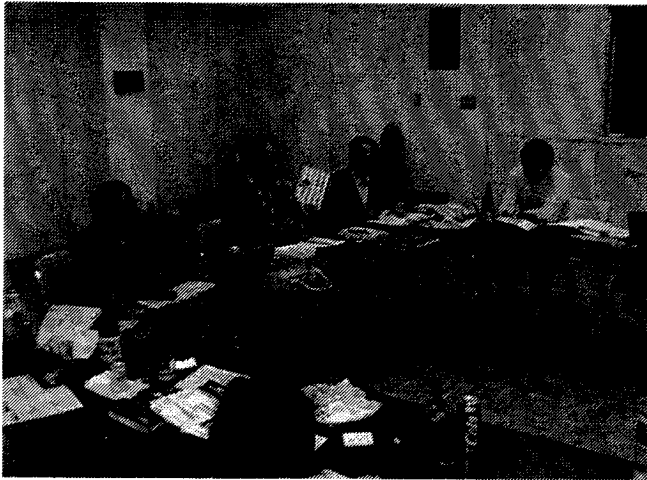
by 関西テレビ放送 「蓬莱山の家」

合宿に参加して

吉川雅啓

今回の合宿で、2回目の参加となりました。私もパソコンを初めて1年が過ぎましたが、この一年早く過ぎて、いまだに何しても中途半端なことしか出来ていない状況です。今回の合宿は雰囲気としては楽しく過ごせました。いつでも完全に物にしようと思っているのですが、色々教えていただくばかりで、時間的に無理だなーとつくづく考えさせられました。

会員の先輩みなさまのご指導にひたすら頑張ってますがっていくのみですのでよろしくお願いします。



蓬莱山をバックに



Tomoppyの雑記帳 (17回)

Tomoppy

2回もお休みしてしまいました。今回の会報は新年号に負けずに「tomoppyの雑記帳」の一人舞台だと言われる内容で届けます。

◆ E-Mailの年賀状

小生が頂戴していた方々で、失礼であったが、E-Mailアドレスをお持ちの方にはMailの添付ファイルにして年賀画像で代行させて頂いた。そのときの画像とMailで頂戴した年賀画像をご覧ください。また、一部の方へ配信した X'Masカードもご覧ください。



◆ E-Mailの文字化けなどの問題

昨秋はかなりの方がE-mailの送受信が可能な環境が整ったことから、メール交換が頻繁に行われた。そのとき、メール文の中の英数半角文字と全角文字の混在による文字化けや文字コードの設定をソフトJISにセットしたことから、その対策についてのメールの応酬が続いた。その後、対応方法も広まって昨今では話題に上がらなくなった。その他の文字化けの原因は、「電話回線の品質」、「LANなどの機器」の整備不良などから生じていることもあった。それでも、日本語版のWebを使わずに英語版を使うと文字化けが生じている。

一方、添付ファイルのバッチリ・ファイルに関しては未だに問題が生じる。MS-IEを使って受信するとファイル名を勝手に変更したり、あるいは、文書ファイルとして受ける。Tomoppyが体験している物を列挙する。

1) JPEG画像ファイル配信。

MS-Exchangeでは正常に受信。MS-Word95をインストールするとMS-ExchangeやMS-インターネット・メールでは、拡張子が「JPEG」へ勝手に変えてしまうようだ。

2) 圧縮ファイル(拡張子がLZHやZIP、EXEのファイルなど)配信。

一般にバッチリ・ファイルと呼ばれるファイルを配信し、MS関連のメールのアプリケーションで受信するとテキスト・ファイル名に変えて受信する。(テキスト・ファイルのアイコンを表示する)それ故に、配信側でメール文の中に一言、ファイル名を追記する配慮が必要となる。受信時に追記されたファイル名へ変更して保存すると使えるようになる。

3) 配信できるバッチリ・ファイルに制限があるか。

どんな拡張子のファイルでもメールに添付して配信できるが、配信側も受信側もMSのMailアプリケーションを使うとMSから供給したソフト・アプリケーションのファイル名は化けずに配信するようだ。

◆ 昨今のパソコン普及について一言

一昨年のWindows95の発売ブームを経て、昨年初頭のFujitsuの安売りとインターネットのブームとともに家電製品並みに買われた。巷の噂などや知人からの助っ人の依頼などから、かなりの方が使い方が判らないし、教えて貰える知人がいないなどの理由によって、あちこちの家庭でパソコンが居眠りをしているようだ。

OSなど供給している大手の会社が早く何とか、電気炊飯器のように一つのボタンを押すだけで電源が入り、動かせるようになるOSを出さないかと思う。今のWindows95にしてもMACのマシでも、画面がフリーズすると、再起動のときに問題が生じる。また、使用していた画面で、直ぐに電源をOFFにすることが出来ないのでは、各家庭にマシンが一台づつ入り込むには、遠い先のように思う。(技術は可能なのだが価格面で解決できていない)。

先ごろ、ビル・ゲイツがパソコンを電気や水道のように必要ときに使えるようにしたいと言っている。それは、水質向上の前処理、電気の発電仕組み多くの人は適切な使い方をを知っており、水と同じように水道の蛇口となるパソコンから必要な情報を得られるようにしたいと発言している。そのレベルに達するには、何年くらい待たされるのでしょうか。

◆ 96年度の調査

使用OS	Windows 95	55~60%	マシンのメモリ 容量	64MB以上	25%
	Windows 3.1	15%		32MB	50%
	DOS	15%		16MB	20%
	Windows NT	5%		8MB以下	残り
	その他	残り			
開発言語	VC++	20%	次回購入 マシンの機種	IBM互換機自作	60%
	VB2 or VB4	15%		IBM-PC	20%
	BC++	15%		富士通	10%
	VBA	8%		日電	5%
	Delphi	15%		その他	残り
	その他	残り			

以上のデータ入手先は「Try! PC」97年1月号のCD-ROMからの転載。小生の次期マシンはやはり、グローバルなことを考えて、PC互換機にならざるを得ないか。

◆ 日電OS/2 Warp V4のインストール失敗

Windows95が出現するまでは、旧バージョンでは非常に優れた環境のOSであった。少々のことでは画面リソースが生じても苦勞なく回復できた。今回は雑誌などの記事からLANやインターネット強化があつて興味を持ち、日電OS/2 Warp V4を手に入れた。けれども、小生のマシンはもう古く、インストール可能な機種に掲載されているにもかかわらず、何とか、騙しながらインストールに成功したが、各種のドライバをCD-ROMからのインストールを始めた途端に、SCSIタイプの拡張ポート55を認識しない。先のインストール可能な機種に掲げられていてもファイルのCD-ROM装置が必要なことが判明して断念した。購入してから満3年で切り捨てられたのです。対応した日電のSCSI拡張ポートに、もう少し投資すれば可能であるが諦めた。

◆ 中古IDE-HDDの再利用のトラブル

IDEタイプのHDD 240MBを2つを500MBへ交換したのは、昨年の秋であった。約1年ほど放置していたが、マシンの本体内部で購入したから、説明書が無いし、廃棄処分するには惜しいし、試しにNIFTYの掲示板へ売り出した。何れも売り払い条件として説明書なし、日電フォーマットであること、PC互換機に転用可能などを記載した。

もう売れないだろうと思っていたら、1日後に契約成立した。一人はHDDの知識があつたのか、問題は生じないで引き取って貰えた。もう、一人に障害が発生した。先ず、セカンドHDDとしてスイッチの切り替えを知らないと言われて、インターネットでHDDのメカを検索して内容を入手した。驚いたことに、目的のHDD機種より以前のものでWebに掲載されていない。滑り込みセーフで久しぶりに興奮し、インターネットに感謝した。次はマタとして領域開放してOSを入れても動かないとのことでHDDが出戻り、増田さんの手を煩わせて調べたが原因不明で諦め掛けたときに、先方からHDD検査するプログラムを見つけたので、再送せよとの連絡とHDDを認識させるためのパラメータをセットしないとフォーマットは出来ないなどの情報を送って送った。その結果、HDDメカから提供されている「プライマリ・フォーマット」プログラムで実行して、OSをインストールしたら、無事に動いたとのことであった。これで、ゴミ箱へ行かずに使って貰えるようになり、嬉しい資源再生の話でした。

◆ 4GB SCSI-HDDの突然の不幸

友人が大枚を叩いて買った4GB SCSI HDDが約一年目にクラッシュしたようだ。こんな偶発事故を知らされると、CD-R装置が欲しくなりますね。でもM単位の価格を比較するとHDDの方が安くなったので、4GBのHDDを一台買うより保険代と思って、2GBのHDDを複数以上買う方が安心できるのではと思う。皆さん、Windows95の移行は難しいですが、HDDマルチなどのエフィリィティを使って、バックアップをこまめに使しましょう。

◆ 拝受した今年の年賀状

昨年末の異常な官製年賀はがきの売行きは、軽印刷業を直撃したようだ。その背景にはパソコンとプリンタの低価格化と各社の宛名印刷用紙の販売競争による影響があつた。我が家へ配達された葉書の90%以上は宛名まで印刷されていた。数年前には宛名を印刷するときには後ろ髪を引かれる思いであつたのに、時代の流れは恐ろしい。

◆ カラープリンタと日電PC9801DAの交換

長年愛用していた日電PC9801DAを昨年暮れに友人に譲った。当方もDOS版でのプログラム開発を廃業することに踏み切り、マシンの嫁入り先を求めていたら、DOS版で開発をしている同業の友人が受けてくれて、余生を友人宅で過ごすことになった。無償譲渡が、カラープリンタ「Cano BJ35V II」と生れ変わって、我が家へご到着した。最近の低価格のプリンタはDOS版の印刷出力に使えないのが多くなった中で、そのプリンタは有名なPC-PR系やESC/P系をサポートしているので嬉しい。

◆ インターネット関連

昨年の初夏から利用していたプロバイダの無償の試験運用が、1月末で終わりになる。いろいろ考えた末に継続することにした。接続料金は一般的な水準である。皆さん、ご承知の通り、京都INETにも籍を置きながらと思っておられる方が多いと思います。それは、NTTの通話料金にあるのです。隣り合わせながら隣接地域ではないので、や無を得ずに市内のプロバイダを利用しているのです。

その結果、有り難いおこぼれもあった。プロバイダに2つも入っていると皆さんにご迷惑をかけないことを知りました。受信Mailアドレスを1次と2次にそれぞれのプロバイダのアドレスを入力しておく、送信メールにその情報が送られ、相手方が「差出人へ返信」を使うと、もし、1次のプロバイダが配信拒否すると2次のプロバイダへ転送してくれるのです。過去に皆さんへ送信するとプロバイダが工事で接続しないことを時々、体験しました。その時はどうなっているのか、知らずに何回も配信動作を繰り返して困ったことがあり、その逆を皆さんが体験せずに済んだことを知ったのです。

◆ ホーム・ページの学習

インターネット部会の熱意あるご指導と学習に触発されて個人ホームページを開設する気分に傾き作成を始めたが、言語開発と同じようなHTML言語を参考書から探しながら記述することに戸惑い、安直な手段で某ツールを使って着手した。けれども、完備した指導書でない、中西(秀)さんがインターネット部会でホームページを演出してくれたMS-Wordで使えるHTML言語のMSのアドインソフトをインストールした。けれども、メニューに中西さんが見せてくれたマークがないのです。

そこで、皆さんへ質問した。返事が長い間、頂けないので、痺れを切らして雑誌で批評のよかった、IBM発売のホームビルダーを購入した。けれども、解説が理解できず、その不満などをメールしたら、ご返事を若井さんから頂戴した。

IBMのhpビルダーで作成中だそうですが、期待しています。ところでご存じだと思いますがhpの教科書はinのサーチエンジン(yahoo)を使えば沢山ありますよ。

<http://village.infoweb.or.jp/~fwba0480/iv11.htm>

<http://joyjoy.com/tomyhome/whatsnew.html>

皆さんもHTML言語の編集にお探しであれば、上記の紹介して頂いたサイトへどうぞ。

実際の進行状況は、今年の干支のようにのんびりしている訳でなく、デッサンに迷いがあつて進まない。はじめは新年の予定であつたが、どうも難の節句になりそう。

編集部

1997年新年号へ掲載予定で出稿していたのですが、E-Mailの手違いで未掲載となりました。1ヶ月遅れの挨拶ですが、編集部への声援をお願いします。

『会報も通信サービスへ変身するか。』

新年、明けましてお目出度うございます。昨年はねずみの大群が期待したほど押し寄せず、ゆるやかな消費景気であった。今年は丑であり、大草原から轟音とともに景気が上昇してくれることであろう。

昨年は、どこもかしこもインターネットが盛り上がった一年であった。当会も世間様の流行に負け時と年の始めの合宿例会から「ホームページ作成講習」が始まり、遂に部会が発足して最高潮に盛り上がった。この熱気は今年も続くであろう。

また、増田さんに凄いいお荷物の編集印刷をお願いして、休刊することなく発行できたことをこの紙面を借りて深くお礼を申し上げます。

各会員におかれてもインターネットへ接続される方が増加し、メール交換も軌道に乗り、全員が参加する日は近いと思われる。そのような環境になれば会報のあり方も政治改革ではないが、編集方法や情報伝達の手段を変革しなければならないと覚悟している。そのためには、年間の月毎の恒例特集のテーマを予め取り決めておく必要があるように思う。予め、企画を公開することにより、皆さんからの投稿も容易になるだろう。

今年は思いつきの編集でなく、昨年からプロ並みの写真画像を紙面に掲載下さる吉川さんの編集部への参加があり、キリとした紙面作りを心がけ、その紙面がホームページとなるように目指しますので、インターネット部会のご協力を得てHTML言語で作成した紙面へ脱皮を目標に進みたい。新年の挨拶とします。

編集部一同 (文責:河原)